

切れ目のない回復支援体制の強化に向けたギャンブル等依存症対策に取り組む民間団体へのヒアリング結果概要について

令和4年8月9日（火）
第1回大阪府ギャンブル等依存症対策推進計画関係者会議

- 目的：民間団体との連携のあり方を把握するために実施
○対象団体：OACメンバーのうちギャンブル関連の取り組みを実施する5団体
○実施期間：令和4年7月27日から29日

<50音順>

団体名	団体概要 (主な活動内容等)	ヒアリング結果（要約）		
		現在団体が担っている役割	今後めざしている活動や 府の依存症対策の中で担おうと考えている役割	団体として行政と連携してできると考えること
特定非営利活動法人いちごの会	<p>(概要) 連携と協働によって依存症問題で困っている人を専門機関を中心とした治療への導入を図るとともに、自助グループと日中生活リズムづくりによって、回復生活の継続を図り、地域啓発を兼ねて様々な就労への支援を行っている。</p> <p>(主な活動) 日中生活及び就労支援（7か所）、家族ミーティング（オープン）、グループホーム（5住居8サテライト）、相談支援事業、啓発・研修事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> 住まい、人的交流、就労支援、同じ課題を持つ人達の場など、生活全般にかかる支援を実施。 日中活動の提供だけでなく、自助Gへの参加を支援することで、生活づくりを支援。 雇用の場の確保や地域での情報発信、啓発、各種相談、自助グループとの連携などを担う。 	<ul style="list-style-type: none"> 北部に新たな回復支援施設ができたので、活用促進に向けた周知啓発など府内での活動の幅を広げる。 生活保護、生活困窮担当ワーカーとの連携による回復支援 	<ul style="list-style-type: none"> 支援を協働で動けるのがよい（危機介入含め）。 個別に連絡が取れる場や会議など、相談者が回復していく実効性のある仕組みづくり。 かかわり方を事例（支援）を通して作っていく。
大阪いちちょうの会 (大阪クレサラ・ 貧困被害をなくす会)	<p>(概要) 多重債務等の被害者、ボランティア、学者、弁護士、司法書士などが会員となり、個別事案の対応や社会運動を実施。</p> <p>(主な活動) 電話受付（平日 午後1時～5時）、弁護士・司法書士による特別相談 ギャンブル被害相談デー（毎週火曜日 午後5時～）、大阪家族教室での出張法律相談（毎月第4日曜日 午後1時半～） <対面相談実績> 2019年：76名・121件、2020年：113名・168件、2021年：98名・157件、2022年4月～7月：62名・84件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ギャンブル被害による借金の専門相談窓口。 単なる相談機関ではなく、医療機関や自助G等と連携し、多重債務の原因となる課題にも向き合う活動を展開。 本人不在であっても家族の抱える問題として対応。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後の相談として、LINE相談を広げていきたい。 オンラインギャンブルについては何らかの取り組みをしていかないといけないと考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 相談者はギャンブルの問題だけでなく、人間関係や仕事など健康・生活全体への支援が必要な人も多い。借金問題の解決だけでなく生活の再建が必要。生活困窮窓口等の協力が不可欠。 連携をさらに密にするには、つながった後にどうなったのか、など事例を検討できる機会があればいい。
特定非営利活動法人大阪マック	<p>(概要) アルコール・薬物・ギャンブル・摂食障がい等依存症者が、依存を手放し、自立していくことを目的としたプログラムを提供支援していく回復支援施設。</p> <p>(主な活動) ミーティングをメインとしたプログラム提供、グループホーム、生活訓練、地域活動支援センター</p>	<ul style="list-style-type: none"> ミーティングを中心とした日中活動の場及び生活の場の提供。 毎週1回、金曜日にギャンブル等依存症ミーティングを実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ミーティング回数の増加、合同ミーティング（京都マック）の開催などにより、<u>新たな仲間との出会いの場を増やす。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 行政が行う家族・本人向けプログラム、ミーティングや交流の場などへの参加を通して、<u>依存症に悩む方々とつながるきっかけを作っていく。</u>
公益社団法人ギャンブル依存症問題を考える会 大阪支部	<p>(概要) ギャンブル依存症問題でお困りの当事者やご家族への必要な支援の提供等。</p> <p>(主な活動) YouTube・啓発冊子等による啓発、高校・大学への予防教育、当事者ZOOMミーティングの開催（毎週日曜日計2回）、企業への予防啓発、家族相談会、ギャンブル依存症関連イベント</p>	<ul style="list-style-type: none"> ギャンブル等依存症に悩む全国の当事者・家族からの相談（電話・対面）を受け付け、支援を実施。 継続的な支援が必要な場合は、大阪のメンバーも支援の担い手として活動。 	<ul style="list-style-type: none"> 当事者・家族をサポートしながら、<u>医療機関や行政等の関係機関とのパイプ役を担う。</u> 「ギャンブル等依存症は、病気だ」という正しい啓発をさらに強化していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ギャンブル等依存症の問題はハイリスクな人が多くなっている。民間団体だけでは救い出せる人が限られているので、行政との連携が必要。 個別支援を連携してやっていきたい。 個別支援の経験を一緒に積んでいくことで、お互いの理解も深まる。
全国ギャンブル依存症家族の会 大阪	<p>(概要) ギャンブル等依存症で悩んでいる家族を対象とした家族会（大阪の会員数：60名）。</p> <p>(主な活動) 月2回の会合（大阪市、堺市 2か所 毎月1回開催）、セミナー開催（2～3回/年）、電話相談、ギャンブル依存症関連イベント <新たな参加者> 2021年：29家族 2022年6月まで：20家族</p>	<ul style="list-style-type: none"> 同じ経験をしてきた家族だからわかる辛さを共感し奔走支援。 家族としての経験を生かして、SNSやチラシ等を利用し、ギャンブル依存症の家族が抱える問題に関する啓発を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 暴力や自殺念慮のある方への対応を連携して支援。 若年層を含め、広い世代に興味を抱かせるイベントでの啓発 別室で保育を実施するなど、子育て中の人でも家族会につながりやすいよう環境を整える。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭内暴力や自殺念慮など危機介入が必要な場合の家族支援について、連携し対応。 家族としての経験を基に、よりよい支援につながるような啓発活動。

【民間団体との連携強化に向けた主な意見】

○多岐にわたる問題を抱える方を協働して支援 ○個別支援の振り返りや課題の共有などを行う場の開催 ○行政が行う家族・本人向けプログラム等への参加 ○団体のノウハウを生かした啓発